

10月6日(火)
18:30～20:30

ジェンダーと教育：
学校文化と
「かくれたカリキュラム」

大西 公恵

(現代人間学部 心理教育学科)



10月13日(火)
18:30～20:30

動物行動学から見た
性とジェンダー

堂前 雅史

(現代人間学部 身体環境共生学科)



和光大学

連続市民講座2015

10月20日(火)
18:30～20:30

ファッション界は
ノー・ジェンダー
時代に

三浦 彰

(経済経営学部 経済学科)



撮影：言美歩



10月27日(火)
18:30～20:30

労働とジェンダー：
家事労働ハラスメント
から見た日本の働き方

竹信 三恵子

(現代人間学部 現代社会学科)



ジェンダーから読み解く

1 10月6日(火) 18:30~20:30 ジェンダーと教育：学校文化と「かくれたカリキュラム」



学校は「子どもにこのような力をつけてほしい」という意図をもって、大人が子どもに働きかける場です。しかし、そうした教育の目的や意図、計画が明示されていないのに、学校生活を送る中で、知らず知らずのうちに自然と身につけてしまうようなものの見方や行動の型があります。ジェンダー意識もこじれた「かくれたカリキュラム」によって形成されます。本講座では、学校文化とジェンダーの問題を取り上げて考えてみましょう。

大西 公恵

(現代人間学部 心理教育学科)

専門は教育史・教育学。これまでに日本の教育現場に蓄積されてきた教育実践の事例を取り上げ、教師が行う人づくりの技や工夫について歴史的・社会的観点から研究を行っている。

2 10月13日(火) 18:30~20:30 動物行動学から見た性とジェンダー



「動物は母性本能というものがあるのだから、人間の女性も子育てに集中しなくちゃいけない」といわれるとあなたはどのように考えますか。実は「母性本能」という生物学用語はないのですが、この語が使われると私たちが取るべき行動が生物学的に決まっているように思われてしまいます。こうした動物学という科学に立脚しているかのような言い方について、動物生態の話題を楽しみながら、動物行動学と科学論の視点から考えてみましょう。

堂前 雅史

(現代人間学部 身体環境共生学科)

専門は動物行動学、科学技術社会論。もともとはハツカネズミの行動の性差を解析する研究をしていたが、和光大学に来てからは科学知識の社会的受容に関わる研究をしている。

3 10月20日(火) 18:30~20:30 ファッション界はノー・ジェンダー時代に



ユニセックス、アンドロジナスと性差を超えたファッションは進化を続けています。ファッションの世界で、新たな概念として最近言われた言葉がノー・ジェンダー、あるいはジェンダーレス。一步踏み込んだ新しい世界を提案しています。ファッションの世界の最新ノー・ジェンダー事情をレポートします。

三浦 彰

(経済経営学部 経済学科)

専門はファッション・ブランディング&ファッション・マーケティング。ファッションは、衣服など生活を彩るアイテムを超えてブランド化するときビジネスとして巨大化する。その過程で行われるブランディング、マーケティングについての研究をしている。

4 10月27日(火) 18:30~20:30 労働とジェンダー：家事労働ハラスメントから見た日本の働き方



日本で進む非正規労働の増加の背景にある家事労働の蔑視、軽視、排除(家事労働ハラスメント)を浮かび上がらせ、男性が一人で家族の生計を支える「大黒柱型家計」から、男女の経済的自立による「二本柱型家計」による新しい豊かさへの道筋をさぐります。

竹信 三恵子

(現代人間学部 現代社会学科)

専門は労働社会学、メディア論。日本で急速に進む非正規化と格差の拡大など、労働市場の劣化の現状をつかみ、その原因と対策を考える。著書に『ルボ雇用劣化不況』(岩波新書)など。

会場 和光大学ポプリホール鶴川 3F 多目的室
(小田急線 鶴川駅 徒歩3分)

受講料 各回 500円
(※学生無料)

定員 各回 50名
(※先着順)

申込方法 ハガキ、FAX、Eメールで『連続市民講座「ジェンダーから読み解く』と明記し、以下の必要事項をご記入の上、和光大学 企画広報係 大学開放センターまでお送りください。
なお、各回の開催日1週間前までにお申込みください。※お電話でのお申込みはご遠慮ください。

① 氏名(フリガナ) ② 郵便番号・住所 ③ 電話番号 ④ 参加する回数(第○回、全4回 など)

お問い合わせ・申込先

和光大学 企画広報係 大学開放センター

〒195-8585 東京都町田市金井町2160

TEL: 044-988-1433 FAX: 044-988-1594 E-mail: open@wako.ac.jp

